

平成 2 9 年度事業報告書

社会福祉法人 寿 恵 会

永年に渡り社会のために尽くされてきた高齢者の皆様が、津高寮において楽しく健やかに人生を過ごされることを目的として、法人理念に基づいて介護サービスのより一層の向上に努めてまいりました。

そして、29年度は以下の点を基本方針として掲げ、事業推進に努め、一定の成果を得るに至りましたのでご報告いたします。

〔I〕概要

(1) 経営基盤の強化並びに安定経営の確立に取り組む

① 経費節減の強化

従来よりも経費削減をさらに強化して取り組むことにより法人の経営を安定させることが出来ました。

② 在庫管理の強化

適正な在庫管理を行なうことで経費面での効率化を推進しました。各部門が管理すべき物品を明確にし、在庫管理を行い経費の節減及び業務の効率化に結び付けることが出来ました。

③ 事業所毎の稼働率の確保

安定的な経営を確立するため、質の高い介護サービスを提供することにより予算稼働率を達成するように努力した結果、デイサービス及び居宅介護支援事業所については目標稼働率を達成したものの、特別養護老人ホーム及びショートステイは僅かに目標稼働率に及びませんでした。

④ 目標の共有について

平成29年度の事業計画及び予算について、全職員を対象とした会議を行うことにより、全職員一丸となって業務にあたる事が出来ました。

(2) 組織運営

① サービス内容の向上

事務管理部、特養介護部、医務部、ショートステイ部、デイサービス部、調理部、居宅介護支援事業所が各々の立場からご利用者様等に対する現在のサービス内容並びに業務内容等を常に見直し、今よりも質の高いサービス提供を行えるようにと取り組みました。

② 環境整備の取り組み

ご利用者様の津高寮での生活の快適性を確保するため、施設全体の環境整備に取り組みました。また、建物、設備、什器備品等の速やかな補修について取り組みました。

③ 危機管理の取り組み

施設内外の危険個所の把握点検改善等の防災対策を徹底し、また、施設の防災設備が円滑に機能する様に点検整備を常に励行し、災害等の被害が拡大しないように努めました。火災、地震等の災害が発生した場合、ご利用者様の安全確保に迅速に対応できる様、年2回（日中及び夜間想定）の防災訓練を実施しました。

④ 会議委員会及び研修についての取り組み

連絡会議、特養会議、身体拘束廃止委員会（施設内研修、年2回）、事故防止委員会（施設内研修、年2回）、褥瘡予防委員会（施設内研修、年1回）、給食委員会、感染予防委

員会（施設内研修、年2回）、入所判定委員会、夏祭り委員会、資質向上委員会を実施いたしました。また、医療安全対策研修（施設内、年1回）、虐待防止研修（施設内、年1回）各部門内（特養職員、デイサービス職員、ショート職員）会議での情報の迅速な共有を行いました。

⑤ ご利用者様及びご利用者様のご家族様との連携

ご利用者様及びご利用者様のご家族様との連携を強化するため、施設運営面、サービス内容等に関する意見、苦情等を収集するとともに、満足度調査を行い、業務改善・見直しに役立てる活動を行いました。

(3) 職員資質の向上と人材の育成

- ・ハローワーク等主催の就職セミナーへの参加、派遣紹介会社と良好な関係を築き良質な人材の確保にあたる。
- ・経営理念及び経営方針の周知へ向けた取り組みを実施し、共通理解を徹底する。
- ・各専門職資格取得奨励と施設内勉強会・研修を継続的に実施する。
- ・外部勉強会・研修会等への積極的参加をする。
- ・サービスやマナーを向上し、介護の質を高める。

以上の点に取り組みました。

(4) 地域福祉貢献活動の強化

社会福祉法人にあつては地域福祉に貢献することが強く求められており、本年度もさらに地域に信頼される津高寮とすべく、夏祭りや地域の清掃活動等を通じて地域との交流活動を推進するよう取り組みました。

〔Ⅱ〕施設の運営状況

1. 資格取得状況

| | | | | | |
|---------------------|-------|---------|---------|---------------------|-----|
| 平成29年度資格取得者 | 介護福祉士 | 2名 | 介護支援専門員 | 0名 | |
| 平成29年度末現在での資格取得者 | | | | | |
| 社会福祉士 | 1名 | 介護支援専門員 | 2名 | 社会福祉主事 | 7名 |
| 理学療法士 | 1名 | 管理栄養士 | 1名 | 介護福祉士 | 27名 |
| 正看護師 | 5名 | 准看護師 | 4名 | 衛生管理者 | 0名 |
| 栄養士 | 1名 | 調理師 | 0名 | 介護実務者研修 (訪問介護1級) | 3名 |
| 介護初任者研修 (訪問介護2級) | 2名 | | | | |

2. 各種会議・委員会開催状況

| 会議・委員会名 | 開催日 | 出席者 |
|---------|---------|------------------|
| 連絡会議 | 毎月10日 | 施設長・事務長・各部門長 |
| 特養会議 | 毎月第3火曜日 | 施設長・事務長・介護・看護・調理 |

| | | |
|-----------|-------------------|---|
| ショート会議 | 不定期 毎月1回 | 施設長・ショート職員 |
| デイサービス会議 | 毎月第3水曜日 | 施設長・デイサービス職員 |
| 衛生管理委員会 | 毎月10日 | 施設長・事務長・衛生管理者・介護・看護・ |
| 身体拘束廃止委員会 | 毎月第2金曜日 | 施設長・事務長・相談員・施設ケアマネ・機能訓練指導員・介護・看護・ |
| 事故防止委員会 | 毎月第3火曜日 | 施設長・事務長・相談員・施設ケアマネ・機能訓練指導員・介護・看護・調理 |
| 褥瘡予防委員会 | 毎月第3金曜日 | 施設長・事務長・相談員・施設ケアマネ・管理栄養士・機能訓練指導員・介護・看護・調理 |
| 感染症対策委員会 | 4月・7月・10～3月の第2火曜日 | 施設長・事務長・相談員・施設ケアマネ・管理栄養士・介護・看護・調理 |
| 入所判定委員会 | 奇数月第3火曜日 | 施設長・事務長・相談員・施設ケアマネ・管理栄養士・機能訓練指導員・介護・看護 |
| 給食委員会 | 偶数月第1火曜日 | 施設長・事務長・相談員・施設ケアマネ・管理栄養士・介護・看護・調理 |
| 夏祭り委員会 | 夏祭り前に数回 | 施設長・事務長・各部門から担当職員 |
| 資質向上委員会 | 毎月第3火曜日 | 施設長・事務長・相談員・施設ケアマネ管理栄養士・機能訓練指導員・介護・看護・調理 |

3. 各施設の利用状況等

◇特別養護老人ホーム

(1) 利用状況

利用者の要介護状態は、平均要介護度が4.2とほぼ昨年度並みとなっている。また、特別養護老人ホームの年間平均利用率は前年度91.9%に対し、本年度は93.7%と1.8%上昇した。

| | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計 | 年間平均利用率 |
|------|------|------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 利用者数 | 0名 | 0名 | 17.7名 | 26.5名 | 30.8名 | 75.0名 | 93.7% |
| 構成比 | 0.0% | 0% | 23.7% | 35.3% | 41.0% | 100% | |

(2) 年齢構成

利用者の年齢構成は90歳以上の利用者の比率は49.4%となっており、前年度よりも若干下がっております。また、100歳以上の利用者は2名となります。

| | | | | | | |
|------|-------|---------|---------|--------|------|-----------|
| | ～69 歳 | 70～79 歳 | 80～89 歳 | 90 歳以上 | 合計 | 内、100 才以上 |
| 利用者数 | 0 名 | 9 名 | 31 名 | 39 名 | 79 名 | 2 名 |
| 構成比 | 0% | 11.4% | 39.2% | 49.4% | 100% | 2.5% |

(年度末時点)

(3) 入退所状況

退所者 22 名の内、17 名の方が死亡退所、5 名が長期入院による退所となっております。退所後の空所を出来るだけでなくすため、入所判定委員会を 2 か月に 1 度行い、担当職員が待機者及び次期入所予定者を把握し、空所時には入所日程の調整をスムーズに行えるよう取り組んで参りました。

| | 入所者数 | 退所者数 | 退所理由別人数 | | |
|----------|------|------|---------|-----|-----|
| | | | 死亡 | 入院 | その他 |
| 平成 28 年度 | 27 名 | 24 名 | 18 名 | 6 名 | 0 名 |
| 平成 29 年度 | 22 名 | 23 名 | 17 名 | 5 名 | 1 名 |

◇短期入所生活介護

短期入所生活介護事業の利用状況は、昨年度年間延べ利用者数 5,128 名、1 日平均利用者数 14.0 名、年間平均利用率 70.2% に対し、本年度は延べ利用者数 5,600 名、1 日平均利用者数 15.5 名、平均利用率 77.3% と前年度比利用者数で 472 名、1 日平均利用者数で 1.5 名増加したことにより利用率は 7.1% の増加となった。

| | 年間延べ利用者数 | 1 日平均利用者数 | 年間平均利用率 |
|----------|----------|-----------|---------|
| 平成 28 年度 | 5,128 名 | 14.0 名 | 70.2% |
| 平成 29 年度 | 5,600 名 | 15.5 名 | 77.3% |

◇通所介護事業

通所介護事業の利用状況は、昨年度年間延べ利用者数 4,122 名、1 日平均利用者数 16.0 名、年間平均利用率 64.2% に対し、本年度は延べ利用者数 4,573 名、1 日平均利用者数 17.9 名、平均利用率 71.5% と前年度比利用者数で 451 名、1 日平均利用者数で 1.9 名増加したことにより対前年比利用率で 7.3% の増加となった。

| | 年間延べ利用者数 | 1 日平均利用者数 | 年間平均利用率 |
|----------|----------|-----------|---------|
| 平成 28 年度 | 4,122 名 | 16.0 名 | 64.2% |
| 平成 29 年度 | 4,573 名 | 17.9 名 | 71.5% |

◇居宅介護支援事業

居宅介護支援事業のケアプラン計画件数は、前年度 1 ヶ月平均 37.7 件の計画件数に対し本年度は 1 ヶ月平均 37.8 件となり、前年度より 0.1 件増加となった。引き続き、利

利用者が在宅で自立した生活を営み継続出来る様に、要介護者の状態把握に努め、『利用者本位』『利用者自身の選択』を優先としたケアプラン作成を通じて、『保険・医療・福祉』サービスが総合的に受けられるように支援して参ります。

| | 月平均ケアプラン件数 |
|--------|------------|
| 平成28年度 | 37.7件 |
| 平成29年度 | 37.8件 |

4. 年間行事実施状況

行事は利用者の重度化を考慮しながら四季の行事を行い、各種サークルにおいては毎月お花、喫茶、書道など定期的に行い、利用者間の連帯感や意欲の助長に努めました。また外出を希望される利用者には買物、ドライブ、外食等のお手伝いを行い、気分転換を図るよう努めました。

| | 特別養護老人ホーム | 短期入所生活介護 | 通所介護事業 |
|-----|-------------|----------|----------------|
| 4月 | お花見 | お花見 | お花見 |
| 5月 | 母の日・菖蒲湯 | 母の日 | スカッシュボール大会・菖蒲湯 |
| 6月 | 父の日 | 運動会 | |
| 7月 | 七夕 | 七夕 | 100歳利用者様祝賀会 |
| 8月 | 夏祭り | 夏祭り | 夏祭り |
| 9月 | 彼岸法要・敬老祝賀会 | 敬老祝賀会 | 敬老祝賀会 |
| 10月 | 紅葉狩り | 菊花展・秋の遠足 | 運動会 |
| 11月 | 文化祭 | 紅葉狩り・文化祭 | 作品展・アコーディオン演奏会 |
| 12月 | クリスマス会・ゆず湯 | クリスマス会 | クリスマス会・忘年会 |
| 1月 | 初詣・とんど焼き・初釜 | 新年会 | 新年会 |
| 2月 | 節分祭 | 節分祭 | |
| 3月 | 雛祭り・彼岸法要 | 雛祭り | |

5. 健康管理状況

健康管理については、定期健康診断として、胸部レントゲン撮影・インフルエンザの予防接種を実施しました。胸部レントゲン撮影は59名の方に実施し、内1名の方に精密検査を実施しましたが異常ありませんでした。インフルエンザの予防接種につきましては、主治医、家族と相談した結果、76名の利用者と職員全員が予防接種を受けましたが、本年度は施設内での大きな流行もなく過ごせました。

| | 実施状況（受診者数） | | レントゲンの結果 | |
|--------|------------|-----------|----------|------|
| | 胸部レントゲン | インフルエンザ予防 | 異常なし | 異常あり |
| 平成28年度 | 48名 | 78名 | 44名 | 4名 |
| 平成29年度 | 59名 | 76名 | 58名 | 1名 |

◇利用者の通院、入院状況

定期健診とは別に、主治医、医療機関との連携のもと、病気の早期発見・早期治療に努めた結果、通院者が延べ122名、入院者数が延べ111名となり、前年度を下回る事となりました。

| | 通院 | 入院 |
|--------|------|------|
| 平成28年度 | 181名 | 122名 |
| 平成29年度 | 122名 | 111名 |

6. 事故発生防止への取組

施設内での事故防止に努める為、月1回の事故防止委員会の開催と年2回の研修、さらに必要に応じて少人数での実践的な研修を実施しましたが、入院・通院を伴う事故の件数は微増となりました。再発防止に向けそれぞれの事例についてしっかり検討を行って、今後もより一層の事故発生の防止に努めてまいります。

7. 身体拘束廃止への取組

身体拘束につきましては、2ヶ月に1回身体拘束廃止検討委員会の開催と年2回の研修を実施し、各専門職の意見を交えながら経過観察記録に基づき再検討を行い、身体拘束廃止に取り組んで参りました。また、突発的に必要な事例が発生したときも、臨時で委員会を開催し、出来る限りの身体拘束解除に向けての取り組みを行い、身体拘束ゼロへ向けて施設全体で取り組んで参りました。

8. 感染症対策実施状況

感染症対策につきましては、4月7月および10月から3月までの各月1回の感染症対策委員会の開催と年2回の研修を実施しました。また、利用者、ご家族及び関係職員等に対して手洗い、マスクの着用、排泄介助時等には個別に使い捨て手袋を使用する等の徹底に努めた結果、ショートステイでインフルエンザが発生したものの、大きな流行に繋がることなく対応することが出来ました。

9. 褥瘡予防への取組

褥瘡予防につきましては、各担当者が褥瘡予防プランを作成・実行し、月1回の褥瘡予防委員会で改善状況について検討し、状況に応じてプランの見直しを行っています。また、エアーマットやクッションを褥瘡対策として使用しております。エアーマットの追加購入等を通じて、引き続き褥瘡予防に取り組んでいきます。

| | 褥瘡の人数 | 治癒した人数 |
|--------|-------|--------|
| 平成28年度 | 36名 | 33名 |
| 平成29年度 | 38名 | 33名 |

10. 機能訓練の取組状況

個別の機能訓練につきましては、機能訓練指導員を中心に、個別機能訓練計画書をもとに、日常生活の中で出来る生活リハビリを中心に、日中はできるだけ起床・離床し、廃用症候群の予防に努めました。

11. 食事、栄養管理

食事・栄養につきましては、衛生管理（記録・確認）に努め、食事が日常の喜びになっていることを十分考慮し、季節感、郷土色を取り入れた家庭的な食事の提供を調理済み食材を使用して行なってきました。また、各利用者の栄養状態・健康状態・摂取能力・嗜好等を把握し、食事に対する楽しみを更に増やすため、給食委員会を隔月で開催しました。来年度も引き続きソフト面、ハード面で随時見直しを行い、充実した食事の提供を行って参ります。

12. ご家族との連携

夏祭りなどの行事を通じて、ご家族への参加を呼びかけ、連携を密にするようにしました。また、利用者の状態の変化があったときなどは速やかにご家族へと連絡をとるなど、日ごろから連携を密にするように努めました。

〔Ⅲ〕施設の運営管理状況

1. 職員状況（正職のみ）

（1）職員数

職員数合計は、前年度49名に対し、40名と同数となっています。また、男女別職員数では、男性職員15名に対して、女性職員は25名となっています。

（2）平均年齢

平均年齢は、男子職員が35.3歳、女性職員が44.9歳であり、職員全体の平均年齢は41.3歳となっている。

（3）平均勤務年数

平均勤務年数は、男性職員が6.7年、女性職員が7.6年、職員全体で7.2年となっている。

（4）退職者数

退職者数は、男子職員3名、女子職員6名、合計9名となっている。そのうち、介護職員の退職者数は5名となっている。

| | 性別 | 職員数 | 平均年齢 | 平均勤務年数 | 退職者数 |
|--------|----|-----|-------|--------|------|
| 平成28年度 | 男 | 18名 | 36.3歳 | 6.0年 | 4名 |
| | 女 | 31名 | 43.3歳 | 6.9年 | 5名 |
| | 計 | 49名 | 40.7歳 | 6.6年 | 9名 |
| 平成29年度 | 男 | 15名 | 35.3歳 | 6.7年 | 3名 |
| | 女 | 25名 | 44.9歳 | 7.6年 | 6名 |
| | 計 | 40名 | 41.3歳 | 7.2年 | 9名 |

2. 研修実施状況

職員研修については、年初に予定していた施設内研修以外に必要なに応じてその時々の課題に対して研修を行い、各部門ごとに個々の職員に応じた施設外研修への参加を促しました。また、助成金を活用した介護福祉士実務者研修の受講を、介護福祉士未取得の職員を対象として促進していきました。

3. 防災訓練の実施状況

本年度、防災面については、年2回の防火訓練（うち1回は日中想定 of 総合訓練、うち1回は夜間及び地震想定 of 総合訓練）を実施しました。今後も訓練の内容充実と経験を深めることで、万が一の場合に備えていきたいと思っております。

4. 苦情、相談受付状況

苦情・相談につきましては、苦情を利用者からの貴重な情報と捉え、素早く対応することにより潜在的な苦情を回避し、サービスの質的向上に繋げていくように取組みました。

5. ボランティアの受入れ状況

多くのボランティアの方々によって、職員だけでは不十分なレクリエーション・見守り・夏祭りの運営等様々な場面でのご協力を頂くことができました。今後も各方面へとお願いをしていき、様々なボランティアを受け入れていきます。

〔IV〕 地域・ご家族との交流

本年度も夏祭りを行い、利用者のご家族、地域の方々へ参加を呼び掛けて行い、多数のご参加を頂き大盛況に終わりました。来年度も引き続き、施設において福祉活動や行事等を行い、積極的に地域の行事、福祉活動への参加をする事等で、地域・ご家族との交流を深めて参ります。

以上